

事業評価シート（平成26年度分）

1. 事業の位置付け

事務事業名	狭あい橋りょう整備事業		
事業担当	土木部 道路整備課		
事業種類	ハード	ソフト	
総合計画の位置付け	'03	基本目標3 人と自然が調和した、やすらぎのあるまち	
	'02	住みごこち 人にやさしい居住空間をつくる	
	'02	2 身近な生活環境を充実する	
根拠法令等			
対象・受益者	市民	事業期間	平成20年度 ~
委託・協働	【委託: 3セク・財団 企業 NPO その他】【協働: 】		
	目的・目標		事業の概要
橋りょう周辺の交通の利便性と市民の安全確保が図られています。		橋りょう周辺の交通の利便性と市民の安全確保のため、橋の幅が狭く通行に支障をきたしている狭あい橋りょうを改善します。	

2. 事業の検証

活動指標	指標名					単位	
	説明・算定式						
		平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度		
	目標						
	実績						
活動指標	指標名					単位	
	説明・算定式						
		平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度		
	目標						
	実績						
成果指標	指標名	橋りょう整備進捗率				単位	%
	説明・算定式	平成28年度までの指数累計に対する当該年度までの指数累計の率 下吉沢2号橋(用地買収20、下部工40、上部工40)、下之宮橋、立堀橋(詳細設計20、下部工40、上部工40)					
		平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度		
	目標	55	55	73	83		
	実績	55	60	64			
成果指標	指標名					単位	
	説明・算定式						
		平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度		
	目標						
	実績						
進捗状況	: 若干遅れている						
	遅れている理由	下之宮橋の歩道設置工事が一部繰越となったため。					
平成26年度の主な取組と成果							
立堀橋の詳細設計を行いました。また、下之宮橋の歩道設置工事を行っています。							
平成26年度の検証結果	B : おおむね成果があがった						

事業分析	項目	分析の視点	左記の視点に関する分析・課題の抽出	総合評価
	必要性	市民ニーズ 事業目的の達成状況 市の関与の必要性 その他	狭あい橋を整備することで安全性が保たれ、快適な生活環境が図れることから、必要性は高いと考えます。	高低
	有効性	上位施策への貢献 市民満足度を高める方策 継続による成果向上の可能性 その他	歩行者に対する安全の確保や、車両の通行の円滑化が図られ、有効性は高いと考えます。	高低
	妥当性	事業の目的、対象、内容 受益者負担、補助額 業務の執行体制(人員配置、業務分担) その他	安全で快適な生活環境の確保から、妥当性は高いと考えます。	高中低
	効率性	業務プロセス改善による効率化の方策 コスト削減の可能性 事業手法(民活の余地、事業形態の検討) その他	橋りょう整備のコスト削減に取り組みます。	高中低
今後に向けた課題の分析 狭あい橋りょうの改修を進めるにあたり、現橋の状況や地域の利用特性、整備効果等からの各橋の適切な整備方針に基づき、整備箇所の優先順位を決定していきます。				

3. 年度別事業内容・決算額

(単位:千円)

		平成24年度 決算額	平成25年度 決算額	平成26年度 決算額	平成27年度 予算額
事業内容		上部工工事、補償、基本設計	基本設計	狭あい橋りょうの整備	狭あい橋りょうの整備
財源内訳	国庫支出金	0	0	0	0
	県支出金	8,150	18,250	0	0
	起債	6,000	12,700	11,000	63,000
	その他 特財	0	1,844	0	0
	一般財源	10,120	7,560	9,795	7,000
事業費 (A)		24,270	40,354	20,795	70,000
執行率 (%)		40.12	98.06	43.78	

4. 今後の事業展開(担当課としての提案)

平成28年度の取組方針 立堀橋の拡幅工事を行います。
課長コメント 歩行者の安全性や車両通行の円滑化のため、整備計画を策定し優先順位に従い整備を進めます。